



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年10月31日

上場会社名 SMN株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6185 URL <https://www.so-netmedia.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 井宮 大輔
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 鈴木 勝也 TEL 03 (5435) 7930
 四半期報告書提出予定日 2022年11月4日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	6,016	△3.2	△93	—	△111	—	△140	—
2022年3月期第2四半期	6,216	13.2	△137	—	△142	—	△149	—

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 △151百万円 (—%) 2022年3月期第2四半期 △147百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	△10.22	—
2022年3月期第2四半期	△11.45	—

(注) 前連結会計年度末において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2022年3月期第2四半期連結累計期間に係る各数値について、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第2四半期	7,921	4,689	58.9	321.56
2022年3月期	8,319	4,395	52.6	330.77

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 4,663百万円 2022年3月期 4,377百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年3月期	—	0.00			
2023年3月期（予想）			—	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,000	4.8	460	261.4	440	387.6	220	—	15.59

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	14,668,527株	2022年3月期	13,386,721株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	166,656株	2022年3月期	152,503株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	13,721,395株	2022年3月期2Q	13,046,180株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(追加情報)	8
(収益認識関係)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループが事業を展開しているインターネット広告市場は、引き続き拡大を続けております。「2021年日本の広告費」(株式会社電通調べ)によると、2021年のインターネット広告費は前年から21.4%増加して2兆7,052億円となり、マスコミ四媒体広告費(2兆4,538億円、前年比108.9%)を初めて上回りました。

このような経営環境のもと、当社グループは、「発想力と技術力で社会にダイナミズムをもたらすユニークな事業開発会社になる」という経営理念のもと、2023年3月期の経営方針として、アセット強化による事業拡大の基盤作りに向けた「データ連携の拡大」「アドテクノロジー・マーケティングソリューションの提供価値の拡大」

「Cookieレス対応」「構造改革の完了」「デジタルソリューションの事業拡大/DTC(注1)の立ち上げ」を掲げております。売上高は、アドテクノロジーが販売好調に推移するも、マーケティングソリューション、デジタルソリューションの減収により、当四半期連結累計期間では減収となりました。しかしながら、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は組織再編によるコスト削減等により増益となりました。

以上の結果、当四半期連結累計期間における当社の売上高は6,016,155千円(前年同四半期比3.2%減)、営業損失は93,187千円(前年同期は営業損失137,290千円)、経常損失は111,495千円(前年同期は経常損失142,755千円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は140,299千円(前年同期は四半期純損失149,396千円)となりました。

当社グループはマーケティングテクノロジー事業の単一セグメントであります。取扱いサービス別の売上高の概況は次のとおりであります。

1. アドテクノロジー

広告主の広告配信効果を最適化するための広告買付プラットフォームであるDSP(注2)「Logicad」の提供を行っております。当第2四半期連結累計期間は、各商材が順調に伸長し、アドテクノロジーの売上は前年同四半期10.6%増の3,483,600千円となりました。

2. マーケティングソリューション

広告主と媒体を限定したクローズド型アフィリエイト「SCAN(スキャン)」の提供を行っております。当第2四半期連結累計期間は、メディアデータを軸としたソリューション事業の売却等に伴い、マーケティングソリューションの売上は前年同四半期15.5%減の1,633,651千円となりました。

3. デジタルソリューション

連結子会社のルビー・グループ株式会社では、ラグジュアリーブランド向けEコマースの構築・運営・コンサルティングを提供しております。株式会社ASAではWebサイト、モバイル(Webアプリケーションなど)をはじめとするデジタルコンテンツの制作及び開発を行っております。連結子会社の株式会社ゼータ・ブリッジでは音声、画像認識技術を持ち、全国各地のテレビCMデータの販売などのプロモーション関連領域でサービスを提供しております。当第2四半期連結累計期間では子会社のルビー・グループ株式会社のEC手数料の減少等の影響により、デジタルソリューションの売上は前年同四半期20.2%減の881,547千円となりました。

4. その他

テレビ番組表ポータル「テレビ王国」の広告枠の企画及び販売事業を行っております。当第2四半期連結累計期間は、「テレビ王国」の広告売上の減少等の影響により、その他の売上は前年同四半期比36.1%減の17,357千円となりました。

(注) 1 : Direct To Consumerの略。

2 : Demand Side Platformの略で、広告主の広告配信効果を最適化するための広告買付プラットフォーム。媒体側の広告収益の最大化を支援するプラットフォームであるSSP(注3)と対になる仕組みであり、両者はRTB(注4)を通して、広告枠の売買をリアルタイムに行っている。

3 : Supply Side Platformの略。

4 : Real Time Biddingの略で、媒体を閲覧したユーザーの1インプレッション毎にインターネット広告枠の売買がリアルタイムにオークション形式で行われる仕組み。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は、4,302,019千円となり、前連結会計年度末に比べ288,482千円減少いたしました。これは主に、現金及び預金が425,746千円増加した一方で、受取手形、売掛金及び契約資産が684,863千円減少したことによるものであります。固定資産は3,619,197千円となり、前連結会計年度末に比べ109,615千円減少いたしました。これは主に、のれん等の無形資産が66,472千円、繰延税金資産等の投資その他の資産が43,512千円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は7,921,216千円となり、前連結会計年度末に比べ398,097千円減少いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は1,633,558千円となり、前連結会計年度末に比べ565,885千円減少いたしました。これは主に、買掛金が403,915千円、未払法人税等が76,697千円減少したことによるものであります。固定負債は1,598,315千円となり、前連結会計年度末に比べ126,368千円減少いたしました。これは主に長期借入金が113,352千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は3,231,874千円となり、前連結会計年度末に比べ692,254千円減少いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は4,689,342千円となり、前連結会計年度末に比べ294,156千円増加いたしました。これは主に、資本金が222,738千円、資本剰余金が222,738千円増加した一方で、親会社株主に帰属する四半期純損失を140,299千円計上したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は58.9%（前連結会計年度末は52.6%）となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ425,746千円増加し、2,703,550千円となりました。

各キャッシュ・フローの状況と主な要因は、次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動においては、税金等調整前四半期純損失105,902千円、減価償却費294,825千円を計上し、また、売上債権が519,346千円減少し、仕入債務が275,784千円減少、法人税等の支払額114,243千円がありました。その結果、営業活動により得られた資金は390,380千円（前年同期比73,671千円増）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動においては、ソフトウェア等の無形固定資産の取得による支出が309,646千円、造作・サーバー等の有形固定資産の取得による支出が14,189千円となりました。その結果、投資活動により使用した資金は297,508千円（前年同期比95,660千円減）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動においては、株式の発行による収入が435,477千円、長期借入金の返済による支出が115,356千円となりました。その結果、財務活動により得られた資金は318,951千円（前年同期比317,924千円増）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の業績予想につきましては、2022年4月28日付「2022年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」にて公表した通期の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,277,803	2,703,550
受取手形、売掛金及び契約資産	2,104,810	1,419,946
その他	210,794	180,797
貸倒引当金	△2,906	△2,274
流動資産合計	4,590,501	4,302,019
固定資産		
有形固定資産	356,636	357,005
無形固定資産		
ソフトウェア	1,365,778	1,327,359
ソフトウェア仮勘定	35,852	122,941
のれん	971,505	888,334
顧客関連資産	573,300	541,450
その他	1,617	1,494
無形固定資産合計	2,948,053	2,881,580
投資その他の資産		
敷金	214,666	194,286
繰延税金資産	111,294	80,449
その他	112,981	120,898
貸倒引当金	△14,818	△15,023
投資その他の資産合計	424,123	380,611
固定資産合計	3,728,813	3,619,197
資産合計	8,319,314	7,921,216
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,380,778	976,862
1年内返済予定の長期借入金	230,632	228,628
未払法人税等	100,240	23,542
未払消費税等	117,696	56,004
その他	370,097	348,521
流動負債合計	2,199,444	1,633,558
固定負債		
長期借入金	1,477,038	1,363,686
資産除去債務	71,651	71,870
退職給付に係る負債	4,942	4,942
繰延税金負債	166,982	154,830
その他	4,069	2,985
固定負債合計	1,724,684	1,598,315
負債合計	3,924,128	3,231,874
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,037,046	1,259,784
資本剰余金	2,041,192	2,263,930
利益剰余金	1,410,487	1,270,187
自己株式	△116,040	△116,040
株主資本合計	4,372,686	4,677,863
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,217	1,564
為替換算調整勘定	2,627	△16,278
その他の包括利益累計額合計	4,845	△14,713
非支配株主持分	17,654	26,192
純資産合計	4,395,186	4,689,342
負債純資産合計	8,319,314	7,921,216

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	6,216,046	6,016,155
売上原価	4,791,405	4,753,083
売上総利益	1,424,641	1,263,072
販売費及び一般管理費	1,561,931	1,356,259
営業損失(△)	△137,290	△93,187
営業外収益		
受取利息	101	80
受取配当金	15	17
受取家賃	1,587	1,311
償却債権取立益	3,624	—
投資有価証券売却益	—	4
為替差益	880	18,373
雑収入	2,183	940
その他	102	7
営業外収益合計	8,495	20,736
営業外費用		
支払利息	6,444	5,546
投資有価証券評価損	—	321
固定資産除却損	—	1,585
株式交付費	—	12,885
支払手数料	626	626
売上割引	4,267	5,087
雑損失	2,607	215
株式報酬費用消滅損	—	12,777
その他	14	—
営業外費用合計	13,961	39,045
経常損失(△)	△142,755	△111,495
特別利益		
事業譲渡益	—	5,593
特別利益合計	—	5,593
特別損失		
サービス撤退損失	4,752	—
特別損失合計	4,752	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△147,507	△105,902
法人税、住民税及び事業税	39,089	8,784
法人税等調整額	△38,510	19,051
法人税等合計	578	27,835
四半期純損失(△)	△148,086	△133,737
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,309	6,561
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△149,396	△140,299

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純損失(△)	△148,086	△133,737
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	258	△652
為替換算調整勘定	87	△16,929
その他の包括利益合計	346	△17,582
四半期包括利益	△147,740	△151,320
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△149,762	△159,857
非支配株主に係る四半期包括利益	2,021	8,537

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△147,507	△105,902
減価償却費	312,121	294,825
のれん償却額	84,422	83,170
顧客関連資産償却額	31,850	31,850
受取利息及び受取配当金	△117	△98
支払利息	6,444	5,634
売上債権の増減額(△は増加)	472,775	519,346
仕入債務の増減額(△は減少)	△323,873	△275,784
その他	△29,088	△117,093
小計	407,028	435,946
利息及び配当金の受取額	117	98
利息の支払額	△6,444	△5,634
法人税等の還付額	27,642	74,212
法人税等の支払額	△111,633	△114,243
営業活動によるキャッシュ・フロー	316,709	390,380
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△50,683	△14,189
無形固定資産の取得による支出	△344,312	△309,646
投資有価証券の取得による支出	—	△10,655
投資有価証券の売却による収入	—	25,852
敷金の差入による支出	△310	—
敷金の回収による収入	—	20,390
事業譲渡による支出	—	△11,198
その他	2,137	1,939
投資活動によるキャッシュ・フロー	△393,169	△297,508
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△12,335	△115,356
株式の発行による収入	15,120	435,477
自己株式の取得による支出	△17	—
その他	△1,740	△1,169
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,026	318,951
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,299	13,922
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△72,133	425,746
現金及び現金同等物の期首残高	2,050,577	2,277,803
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,978,443	2,703,550

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2022年8月26日付で株式会社読売新聞東京本社より第三者割当増資の払い込みを受け、資本金及び資本剰余金がそれぞれ206,262千円増加しております。

その結果、新株予約権（ストックオプション）の行使及び取締役に対する譲渡制限付き株式報酬としての新株式発行による増加も含めて、当第2四半期連結累計期間において、資本金が222,738千円、資本剰余金が222,738千円増加しており、当第2四半期連結会計期間末において、資本金が1,259,784千円、資本剰余金が2,263,930千円となっております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。）を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、当第2四半期連結累計期間の連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する会計上の見積りに関して、前連結会計年度の有価証券報告書の（追加情報）に記載いたしました仮定に重要な変更はありません。

(収益認識関係)

当社グループの売上高は、主に顧客との契約から認識された収益であり、当社グループの報告セグメントを財又はサービスの種類別に分解した場合の内訳は、以下のとおりです。

前第2四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年9月30日）

(単位：千円)

	売上区分				合計
	アドテクノロジー	マーケティングソリューション	デジタルソリューション	その他	
一時点で移転される財	3,149,227	1,934,772	1,088,428	27,170	6,199,600
一定の期間にわたり移転される財	—	—	16,445	—	16,445
顧客との契約から生じる収益	3,149,227	1,934,772	1,104,874	27,170	6,216,046
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	3,149,227	1,934,772	1,104,874	27,170	6,216,046

当第2四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）

(単位：千円)

	売上区分				合計
	アドテクノロジー	マーケティングソリューション	デジタルソリューション	その他	
一時点で移転される財	3,483,600	1,633,651	824,629	17,357	5,959,237
一定の期間にわたり移転される財	—	—	56,918	—	56,918
顧客との契約から生じる収益	3,483,600	1,633,651	881,547	17,357	6,016,155
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	3,483,600	1,633,651	881,547	17,357	6,016,155